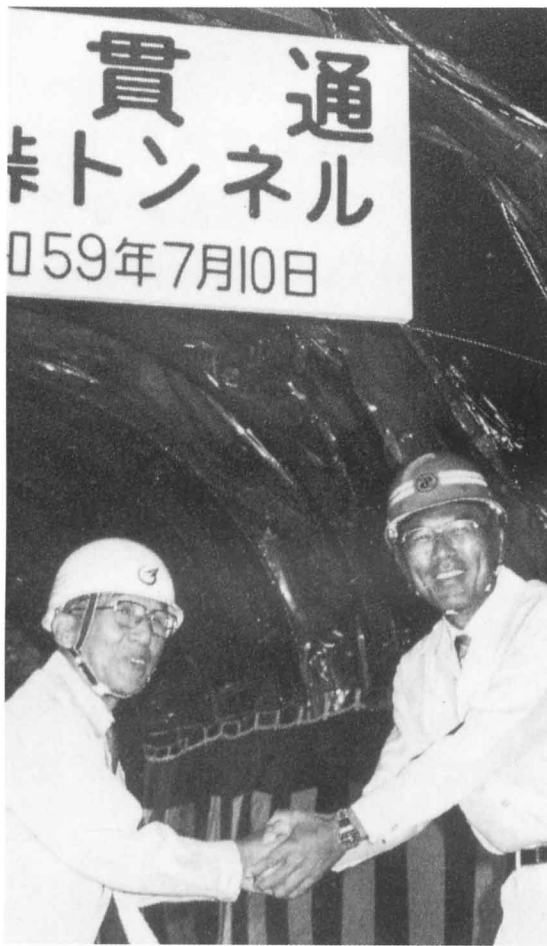


②道路のうつりかわり

熱塩加納村から自動車を利用して会津若松方面に出かけるとき、以前は、国道121号が喜多方市内を通過していたので、とてもこんざつして時間がかかりました。また、山形県に行くにもせまく曲がりくねった道で苦勞くろうしました。それに、冬は雪にとざされ大峠おおとうげをこえられませんでした。



大峠トンネル貫通

平成になって喜多方市の東側ひがし側を通るバイパスができ、市内のこんざつが解消かいしょうされました。会津若松市や郡山市に行くのにとっても便利になりました。また、大峠トンネルが完成かんせいし、山形県に行くのにも短い時間みじかですむようになりました。それに、今までは冬になると通行止めつうこうどになっていたのが、このトンネルのおかげで1年中通れるようになりました。

こうして、山形方面から会津の観光かんこうにくる人の自動車にものつや荷物を運ぶトラックなどの数かずが増え、福島県と山形県を結ぶ大切な道路になりました。

これからの計画では、熱塩小学校の前や熱塩地区の中心部を通らないで、大峠トンネルに直接ちよくせつむす結びつく広い道路が作られることになっています。